



厚生労働省 福島労働局発表

平成 25年 5月 30日

担
当

福島労働局職業安定部職業安定課

課 長 細 貝 一 美

課 長 補 佐 渡 辺 隆

若年者雇用対策係主任 水 野 友 喜

電話 024-529-5396(直通)

大卒等新卒者への就職支援の状況について ～「未内定就活生への集中支援2013」の取り組み～

福島労働局では、ハローワーク及び新卒応援ハローワーク（※）において、「就職をあきらめさせない」「ひとりにさせない」ため、本年1月から3月までを集中実施期間として「未内定就活生への集中支援2013」に取り組みました。

県内の大学等・高校とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底等により、同期間中で724人の就職実績を挙げました。また、就職内定率で見ると、大学生等については93.4%（3月末）で前年同月比4.1ポイント増、高校生については98.5%（3月末）で同1.0ポイント増となりました。

さらにハローワークでは、卒業後も就職活動を続ける未就職卒業者に対して、「切れ目のない支援」として引き続きジョブサポーター等による集中的な個別支援を実施し、1日でも早い就職の実現に向け、取り組んでいきます。

【ポイント】

- 「未内定就活生への集中支援2013」を実施（平成25年1月～3月末）
- 大学等・高校とも就職内定率が上昇（大学等 93.4%（前年同月比4.1P増）
（高校 98.5%（前年同月比1.0P増））
- 「就職をあきらめさせない」「ひとりにさせない」「切れ目のない支援」

（※）新卒応援ハローワークは、就職活動中の学生・既卒者の皆様が利用しやすい専門のハローワークです。「福島新卒応援ハローワーク（福島市狐塚17-40 Tel：024-534-0466）」と「郡山新卒応援ハローワーク（郡山市駅前2-11-1 ビッグアイ・モルティ4F Tel：024-927-4633）」があります。

1 「未内定就活生への集中支援2013」の取組実績

学校等の協力を得て新卒応援ハローワーク（県内に福島・郡山）やハローワークへの未内定者の誘導、「ジョブサポーター」による電話等での来所の呼びかけ・来所者への個別支援、面接会の集中開催などを実施。

内定率（平成25年3月末） **大学等93.4%**（同4.1P増）、**高校98.5%**（前年同月比1.0P増）

就職者数（平成25年1～3月末） **724人**

具体的な支援内容

（1）「ジョブサポーター(※)」によるきめ細やかな支援！

(※)新卒者の就職支援を専門とする職業相談人員。企業の人事労務管理経験者など県内各ハローワークに**57人**配置。

- ①担当者制の個別支援（定期的な求人情報の提供、応募先の選定や就職活動の進め方の相談、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導など）
- ②学校担当者制による、出張相談・就職支援セミナーなど学校のニーズに合わせた支援
- ③職業適性検査や各種ガイダンス・セミナーなどの実施
- ④新卒者・既卒者向けの求人開拓 **429人分**（平成25年1月～3月末）

（2）新卒者と中小・中堅企業とのマッチング！

新卒者が中小・中堅企業の人事担当者に直接、仕事の内容・魅力などを直接確認・応募できるように、就職面接会を開催しました。**5回**開催（平成25年1月～3月末）

【高校】福島市（2月7日）、いわき市（2月7日）、会津若松市（2月14日）、郡山市（2月5日）

【大学等】郡山市（3月12日）

（3）保護者への働きかけ！

労働局等から学生・生徒の保護者に、就職をあきらめないこと、中小・中堅企業にも目を向けること、新卒応援ハローワークやハローワークを積極的に活用することなどを呼びかける啓発文書を送付。

送付件数は**1,475件**（平成25年1月～3月末）

ジョブサポーターの活動



担当者制の個別支援



職業適性検査や各種ガイダンス・セミナーなどの実施



学校担当者制によるニーズに合わせた支援



新卒者・既卒者向けの求人開拓

2 ハローワーク（ジョブサポーター）を通じて就職に結びつきました！

ケース 1 短大生 Sさん

昼間は企業でフルタイムで働きながら、保育を専攻している夜間学生のYさん。

就職活動に充てられる時間が限られているうえ、専攻している保育士ではなく、販売職希望のため、求人情報の収集が困難で、卒業を間近に控え、周りに内定者が増えていく状況に焦りを感じていた。

学生支援を専門的に行う「新卒応援ハローワーク」の存在を知り、支援をスタート。求人情報提供や個別求人開拓、書類添削・面接練習、夜間部の学生に配慮した時間帯での出張相談等、10回に及ぶ支援を行った結果、希望職種に……

ケース 2 短大生 Mさん

食物栄養学を専攻し、栄養士志望のMさん

学校求人を経験源に活動。希望と合う求人を見つけるのに苦労していた。また、内向的な性格から面接で自身の言いたいことが言えず、不採用が続いたまま卒業を迎えた。

学内登録会に参加。予約不要なことや、プライバシーを確保した相談環境が本人のニーズに合い、新卒応援ハローワークでの支援を希望。書類添削・面接練習、採否結果の振り返り、情報提供や電話による状況確認を行い、来所勧奨の継続等の「切れ目のない」支援の結果、次第に自身の思いや意思を伝えられるまでにコミュニケーションスキルも向上。登録から約3カ月、計42回の支援の結果、食品製造職に……

ケース 3 大学生 Tさん

福祉の大学在学中に飲食業界を希望し、内定を得ていたが、親の反対で辞退したTさん

未内定のまま卒業。目標を失い、家族からも孤立し「何をやったらいいのか…」「どうしたら親に認められるのか…」悩み、就労意欲を失っていた。

ハローワークからの情報提供をきっかけに、支援をスタート。本人に寄り添った「一人にさせない」支援を繰り返す中で、自信を取り戻し、本来の目標に自ら気づき就活に意欲的になった。またアサーショントレーニングや模擬面接を繰り返した結果、両親との関係も修復が進み、親も納得する、病院での診察材料管理、配送業務に……

就 職 決 定